

2017年5月25日

新型 WRX STI がニュルブルクリンク 24 時間レースに参戦

～参戦 10 年目、3 年連続のクラス優勝を目指し、
全国から選抜された 6 名の販売店メカニックがレースをサポート～

SUBARUのモータースポーツ統括会社であるスバルテクニカインターナショナル*1は、2017年5月25日から28日にかけてドイツ・プファルツ州アイフェル地方のニュルブルクリンクサーキットで開催される第45回ニュルブルクリンク24時間レースに、新型 WRX STI をベースとする車両で参戦します。このチャレンジは、2008年以来今年で10年目となり、節目の年を迎えます。

この 新型 WRX STI は、今年も欧州有カメーカーが多数参戦する2.0リットル以下のターボエンジン搭載車クラスである「SP3T」に参戦し、同クラスでの3年連続、5度目の優勝を目指します。

2017年5月24日に発表した新型 WRX STI をベースに、加速性能とトップスピードの向上を図るために、エンジン出力の向上、パドルシフトの採用、トランスミッションの改良を施し、あわせて、シャシージオメトリーの最適化、剛性バランスの改善、車体の軽量化、慣性モーメントの低減、フロントダウンフォースの向上なども行い、ベース車の「速く」かつ「意のままに操る」基本性能を極限にまで高めました。

チーム監督は昨年に引き続きSTIの菅谷重雄が担当。ドライバーは、昨年までの2連覇のメンバーである、カルロ・ヴァン・ダム(オランダ)、マルセル・ラッセー(ドイツ)、ティム・シュリック(ドイツ)、山内英輝(日本)の布陣で挑みます。

また今年も全国SUBARU販売店から選抜された6名のメカニックがチームに参加し、レースをサポートします。販売店メカニックの海外自動車レースへの参加は、メカニックの技術力向上により、お客様にカーライフの「安心と楽しさ」をお届けすることを目的に、SUBARU独自の取り組みとして1990年より継続しています。これまでに351名(～2016年)のメカニックがサファリラリー、WRC*2(世界ラリー選手権)、ニュルブルクリンク24時間レースで活躍してきました。

*1:スバルテクニカインターナショナル(株)(代表:平川良夫、東京都三鷹市、略称:STI)

*2:World Rally Championship



■ SUBARU MOTORSPORT MAGAZINE NBR CHALLENGE 2017 特設ページ

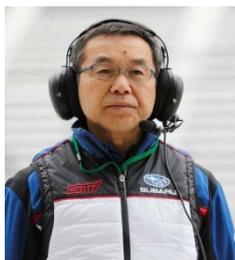
<https://www.subaru-msm.com/2017/nbr/>

<ご参考>

新型「WRX STI」の商品情報については、「「WRX STI」大幅改良モデルを発表～新電子制御マルチモード DCCD の搭載により、ハンドリング性能が更に向上～」(ニュースリリース・2017年5月24日発行)をご確認ください。

https://www.subaru.co.jp/press/news/2017_05_24_4173/

【監督】



菅谷重雄

【ドライバー】



カルロ・ヴァン・ダム



マルセル・ラッセー



ティム・シュリック



山内英輝

【SUBARU販売店メカニック】



北海道スバル
札幌東店
横井洋平



福島スバル自動車
郡山店
原良多



静岡スバル自動車
沼津店
佐々木一星



岐阜スバル自動車
県庁前店
内藤文



大阪スバル
箕面店
村居孝教



京都スバル自動車
宇治店
宇都宮正紀

【参戦車両】

車両名	SUBARU WRX STI NBR チャレンジ 2017
全長	5,120mm
全幅	1,860mm
全高	1,395mm
ホイールベース	2,650mm
エンジン	EJ20 BOXER DOHC 16バルブ AVCS ツインスクロールターボ
排気量	1,994cc
最高出力	250kw(340PS) / 5,500rpm
最大トルク	461Nm(47kgf・m) / 3,000rpm
エアリストラクター	φ37
変速機	6速シーケンシャルギヤボックス+パドルシフト
クラッチ	小倉クラッチ製 メタルツインプレート
サスペンション	フロント：ストラット / リヤ：ダブルウィッシュボーン
ブレーキ	フロント :brembo 製 6ポット / リヤ :brembo 製 4ポット
ホイール	BBS 製 18 x 10J
タイヤ	FALKEN



SUBARU WRX STI NBR CHALLENGE 2017